

4 講 話

「身近なところから平和への道は始まる

— 激動する世界と私たちの未来 —」

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授
名古屋大学名誉教授

中西 久枝



【講話要旨】

私は、イランを中心とする紛争・戦争とその後の国家再建について研究してきた。この特別講座を約 15 年担当してきたが、中東は紛争が絶えず、毎回、話す内容に困ることはない大変な地域である。

本日は、昨年から紛争が続く中で今年 6 月に起こった 12 日間戦争を題材に、「中東の戦争は何が問題なのか」、さらに「私たちは、どのような観点から世界を見る必要があるのか」へと、話を進めていく。12 日間戦争は、イスラエル・アメリカとイランとの間の戦争である。

中東では、イスラエルとイランの二国間対立にとどまらず、米国、サウジアラビア、パレスチナのハマス、レバノンのヒズボラなどの関係が複雑に絡み合っている。アメリカは、イスラエルを「51 番目の州」として、中東地域に多くの米軍基地を配置し、これまでイスラエルを守ってきた。

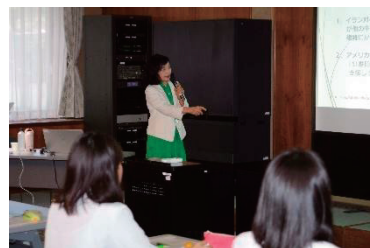
こうした中、なぜ、6 月、イスラエルとアメリカは、イランを攻撃したのか。アメリカのトランプ大統領は、選挙公約で掲げた「ウクライナ戦争とガザ戦争の即時停戦」を実現できず、イスラエルのネタニヤフ首相は、ハマ스에拘束されるイスラエル人質全員の解放が未解決のままである。また、ガザ地区における非人道的な行為により、国際刑事裁判所による戦争犯罪人として指名手配されている。ネタニヤフ首相にとって戦争継続が政権維持につながる。さらに、昨年 11 月シリアのアサド政権崩壊など、これまでイランが中東各地で支援・構築した同盟勢力「抵抗の枢軸」が弱体化し、イランを攻撃する環境が整ったと、イスラエルが判断したこともこの戦争の背景であった。

イスラエルとアメリカは、イランの核兵器製造が近いためだと、イラン攻撃を正当化しているが、軍・核関連施設の空爆は、国際法違反、主権を侵害する行為である。こうした行為に対してヨーロッパ諸国は真っ向から反対する立場をとらず、日本はイスラエルのみを批判した。敢然と批判したのは、ロシア、中国。グローバルサウスの国々であり、非常に深刻な事態だという声明を出した。

私は、ガザ戦争の停戦協定が結ばれた今年 2、3 月にイランを訪問した。イラン国民の中でも、アメリカ・イスラエルとの対立継続を望む声、和平を望む声、さまざま立場が分かれている。

6 月戦争からわかるのは、第一に、大国の敵対国家についての「脅威」のプロパガンダにより、戦争を正当化するメカニズム、第二に、紛争は近隣に波及するため、紛争を起さない、戦争をしかけない外交努力、の 2 点だ。第三に、アメリカの外交能力は低下し、紛争により難民・国内避難民・移民が急増し、受け入れ国の受け皿が課題になった。第四に、中東の石油に依存している日本にとって、中東の戦争は大きな影響を受ける問題であるという点だ。

愛・知・みらいフォーラムでは、SDGs の観点から特別講座や出前授業を行っている。SDGs 目標 16 に「平和と公正をすべての人に」とあり、5 つのポイントを挙げている。この後の授業①、②を通じて、私たちは、今何をすべきかを、世界に目を向けながら、次の世代を担う皆さんに平和とは何かを考えるきっかけになればと願っている。



《講話 資料》

1

愛・知・みらいフォーラム
2025年度 高校生夏休み国際理解教育特別講座

身近なところから平和への道は始まる
ー激動する世界と私たちの未来ー

2025年7月26日（土）10：15～10：45
愛知国際プラザ 2F

同志社大学グローバル・スタディーズ研究科 教授
名古屋大学名誉教授
中西久枝

2

今日の講演

1. 自己紹介
2. 中東の紛争の特徴
3. 2025年6月におこったイスラエル、アメリカ、イランの間の戦争について
4. 紛争や戦争から何がわかるか
5. 今日の講座の紹介

3

イランの核開発問題のおこりとイスラエルのイラン攻撃（2025年6月の12日間戦争）

1. 2002年に核兵器の製造をはじめたのではないかと疑念が起る。イランは、核不拡散条約に加盟し、ウラン濃縮の権利を主張。アメリカをはじめとする核保有国の2重の基準を批判
2. イランの核開発活動を制限する交渉が実り、2015年核合意（英仏独米露中国の6カ国とイラン）
3. 2018年、第一トランプ政権が合意を破棄
4. イランは、その後合意を守る必然性がなくなったとして、核開発活動を促進ー2025年5月31日の国際エネルギー原子力機関による報告書（急速に核活動が進んだ＝イスラエルとアメリカはイランの核兵器製造が近いと宣伝、イスラエルが6月13日にイランの軍、核関連施設を空爆）

4

中東の紛争はなぜ続くか
（パレスチナ、ガザ、イランー6月）

1. イラン対イスラエルの対立が他の中東諸国の関係と複雑にからみあっている。
2. アメリカがイスラエルを「51番目の州」のように支援している。

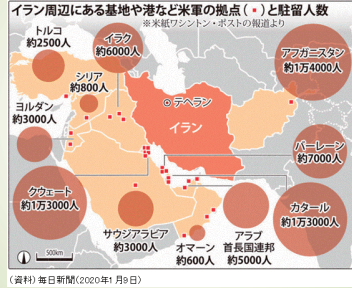
中東を巡る関係図

https://oki.ismcdn.jp/mwimgs/e/9/764wm/img_e9e0e5716d14dde029b2379d17a8914248573.jpg

5

中東における米軍基地ーイスラエルをいかに守るか

<https://honkawa2.sakura.ne.jp/images/2/9350a.gif>中東における米軍基地



6

世界の核保有国

核保有5大国	各国が保有する核弾頭の数
ロシア	6255
米国	5550
中国	350
フランス	290
英国	225
パキスタン	165
インド	156
イスラエル	90
北朝鮮	40~50

※ストックホルム国際平和研究所調べ。
2021年1月時点

<https://cdn.mainichi.jp/vol1/2022/01/05/20220105ddm007030123000p/9.jpg#2>

7

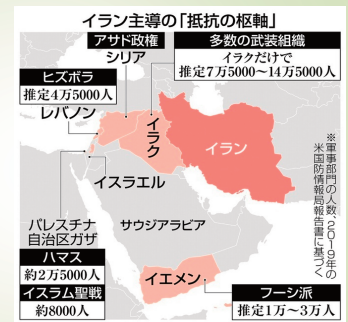
なぜイスラエルとアメリカはイランを攻撃したのかーなぜ6月だったのか

1. アメリカのトランプ大統領は、「ウクライナ戦争とガザ戦争を即座に停戦させる」と豪語したが、いずれの戦争も長期化、何がいい成功例が欲しい。
2. イスラエルのネタニヤフ首相は、ガザを支配するハマス（イスラム武装組織）によるイスラエル市民の人質の解放を約束したが果たせない。ガザ戦争では人道的な危機をおこし、国際的に批判される。国際刑事裁判所による戦争犯罪人として指名手配。戦争を続けることが政権維持になる。
3. イランがイスラエルからの軍事攻撃を抑止するために、中東各地で構築した同盟勢力＝「抵抗の枢軸」が2024年に次々に崩壊ーイランの中東域内での力が弱まる

8

出所：西日本新聞

[https://www.nishinippon.co.jp/uploads/image/1605211/large_467ab8f07b.jpg]



9

イスラエルとアメリカのイランへの攻撃の正当性ー「予防攻撃」？

6月13日～6月20日、イスラエルは、イランの軍や核施設をミサイルやドローンで攻撃、イランも反撃。
6月23日、アメリカは、ミズーリ州からステルス戦闘機を33時間かけて飛ばし、3つの核施設を爆撃。
トランプ大統領は、「イランの核施設は完全に破壊された」と主張、その後、専門家が、2週間、あるいは2か月でイランの核施設は回復する、という見通しを出す。

* 核保有国のアメリカとイスラエルが、核を持たないイランの軍施設、核関連施設を空爆して、主権を侵害、国連の安全保障理事会は機能麻痺。 * 欧州はトランプ関税とウクライナ戦争の余波を恐れ、トランプ大統領のイラン政策を支持。

10

イランの人びとはどう考えてきたのか、今何を考えているのか

- 1. イスラエルのことは情報がないのでわからない、アメリカは大好きー海外に移住するならアメリカが一番人気
- 2. 核開発活動が経済制裁を招き、国民の経済生活は困窮した。抵抗の枢軸への支援をするくらいなら、私たちの生活をもっと豊かにしてほしい。（戦争前の声）イラン社会はさまざまな声が常にある。
- 3. 戦争はいったん終わったが、昨年の戦争の続きが今年起こったとわかった今、今後もういつまた戦争になるかわからないと感じる国民は多い。

11

2025年6月戦争から何がわかるか

1. 大国の政治的、経済的、軍事的利益のために、敵対国をつくり、敵対国の「脅威」のプロパガンダが行われ、それが戦争を正当化。
2. ひとつの紛争や戦争は近隣諸国に波及しやすい。
＝紛争をおこさない、戦争をしかなければ外交努力が今こそ求められる。
3. 紛争や戦争の犠牲者は、そこに暮らしている人びとー難民、国内避難民、移民の急増ー受け入れ国の受け皿が課題に
4. 世界で起きていることは、私たちに直接的に間接的にふりかかる（中東の石油に依存する日本、日米安全保障条約の下の日本、少子化の日本はどのように世界と共存するのかわかるのか）

12

SDGs と今日の講座

目標16「平和と公正をすべての人に」5つのポイント



◆正式名称
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを確保し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

◆ターゲット
16.1～16.10, 16.a～16.bの12個

- ①平和について理解を深める
まずは基本的なポイントを押さよう
- ②それぞれの現状を知ろう
どんなことが問題になっているのか把握しよう
- ③問題の解決策を知る
解決するにはどうすればいい？
- ④解決に向けた取り組みを知る
解決に向けて様々な取り組みを進めている
- ⑤私たちにできることを知る
今日からできることを見つけて行動を起こそう

• <https://spaceshipearth.jp/wp-content/uploads/2022/08/1-5.jpg>